



玄々堂グループ広報誌 - あたたかい医療をみんなの手で -

げんげんどう

特集

介護事業部

医療と介護をつなぐ“新しい力”

2026.7

No.

107



① 表紙：栄養科

② 永年勤続表彰 社会医療法人認定 腎臓病セミナー開催のご案内

③ 新人職員の活躍 糖尿病教室 職員親睦ハイキングに参加して

④⑤ 特集 介護事業部

⑥ 部署紹介 新聞委員会

⑦ 新任医師紹介 乳腺外科セカンドオピニオン外来

⑧ 感染対策コラム 診療報酬改定 脳トレ

2026年度 永年勤続表彰

10周年を迎えて

臨床工学技士 相葉耕作

「新人頑張っています」の記事で紹介していただいてから10年。先日、ありがたいことに永年勤続表彰をいただくことができました。当時は緊張の毎日、自分の役割を果たすことに必死でしたが、今では広い視野を持って患者さんや周囲のスタッフと向き合えるようになったと実感しています。

この10年間の経験を糧に、今後もより一層皆さまの力になれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



20周年を迎えて

薬剤師 主任 金城春樹

勤続20年を迎えました。2005年に入職して以来、気づけば人生の半分を玄々堂で過ごしています。

この地域は私の大切な居場所となりました。患者さんや温かいスタッフに支えられてここまで来ることができました。

薬剤師としてようやく折り返し地点にきたところです。

これからの20年も患者さんに寄り添い、笑顔で楽しく働いていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。



30周年を迎えて

看護師 主任 星野房江

30年を振り返り無事に勤続できたのは、玄々堂職員の方達の温かい支援とご指導のおかげです。辛い時期もありましたが、励ましや笑顔に救われながら、誇りをもって歩み続けることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。これまでの、すべての出会いや経験は私の生涯の財産です。本当にありがとうございました。



社会医療法人に

認定されました

事務長 宮本弘幸

このたび当法人は、令和8年4月1日付けで社会医療法人として認定されました。

社会医療法人とは、救急医療など地域で必要とされる医療を担う、公益性の高い医療法人として国から認定された法人です。

これは、これまで救急病院として地域の救急医療に取り組んできた実績が評価されたものと受け止めております。

これからも地域に必要とされる医療と、公益性の高い医療活動の充実に努め、地域の皆さまに信頼される医療機関として貢献してまいります。

腎臓病セミナー開催 のご案内

日時：9月19日（土）
15時～17時
会場：新館 4F 大会議室
内容：腎代替療法について
詳細は後日



頑張っています

新人職員の活躍

新人3ヶ月目の姿！

足を痛感する毎日でした。
しかし、先輩方の的確な判断やリスク管理を間近で見学し、少しずつ臨床の視点が養われてきた実感もあります。今後、実際に担当を持つにあたり緊張感もあります。が、1人ひとりの患者さんに最適なりハビリを提供出来るように、日々の学びを実践に活かし、着実に成長していきたいです。



理学療法士 高梨 翔太

入職からの1ヶ月は、想像以上に怒涛の日々でした。バイタル測定や移乗介助といった基本動作1つとっても、展開の速さに圧倒され、自分の知識不

ばいでしたが、病院・病棟の温かいサポートのおかげで少しずつ業務にも慣れてきました。また、患者さんからいただく「ありがとう」という言葉が日々のやりがいや励みになっています。
未熟ではありますが、今後も一つひとつの学びを大切にし、患者さん一人ひとりに寄り添える、信頼される看護師を目指して努力していきたくと思っています。



看護師 坂下 心那

入職し早3ヶ月が経過しました。3ヶ月はとも早く感じましたが、毎日多くの学びと経験がありました。慣れない環境のなか不安でいっ

第131回 糖尿病教室開催

糖尿病看護認定看護師 主任 町田 洋子

4月25日(土)に「高齢者糖尿病」セカンドライフを楽しむために」をテーマに糖尿病教室が開催されました。

看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士から講義を行い、最後に荻野副院長の講演がありました。看護師からは「健康寿命について」薬剤師は「インスリンについて」の話があり、近年発売された週1回製剤のインスリンの紹介もありました。管理栄養士から「たんぱく質の摂取について」話があり、昨日の食事内容を振り返る場面もありました。13名の参加者は、それぞれの講義に熱心に耳を傾け、サルコペニアのチェックでは久しぶりの握力測定に緊張しながらも積極的に参加していました。



荻野副院長の講義では、高齢者糖尿病の現状と特徴の話があり、「高齢者の糖尿病の目標は健康寿命を延ばすことであり、楽しむことであり、楽しみを取り入れた食事、体力を維持する運動、日常生活で考えることの繰り返しなど、年齢を重ねても頑張る意気込みが大切であることだ」と締めくくられました。

職員親睦ハイキングに参加して

医事部 高橋 愛佳

5月17日(日)、院内行事である職員親睦ハイキングでマザー牧場へ行ってきました。

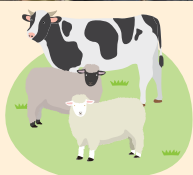
当日は天候に恵まれ気温も高く、私は5.5kmコースへの参加でしたが、額の汗を拭いながら何とか登りきることが出来ました。

鹿野山登山後の期間限定販売であるイチゴ味ソフトクリームは格別に美味しく、さらに名物ジンギスカンも美味しくいただきました。

スケジュールの都合上、動物たちと触れ合う時間は持てませんでした。が、新緑の季節をたっぷりと感じ、おかげさまで心身ともにリフレッシュできました。



また明日から仕事をがんばろうと思える良い休暇となりました。



医療と介護をつなぐ、"新しい力"

— 介護事業部 始動 —

あなたの暮らしに寄り添う医療と介護を



玄々堂君津病院 介護事業部
センター長 木村 純子

「設立の経緯と想い」

この度、2026年4月1日に介護事業部を設立し、新たなサービスを開始いたしました。同時に、富津市大佐和地区地域包括支援センターを開設し、地域の相談窓口としての役割を担うこととなりました。

私はこれまで7年間、玄々堂君津病院の看護部長として多くの患者さんと向き合っていました。病院では多職種連携をして退院調整に取り組んできました。しかし、退院後の患者さん・ご家族の不安な様子や、訪問看護ステーション・施設での受け止め方に少しづれが生じているのを感じていました。その不安やずれを取り除き、安心して暮らしを支えることができるように努めていきたいと考えています。

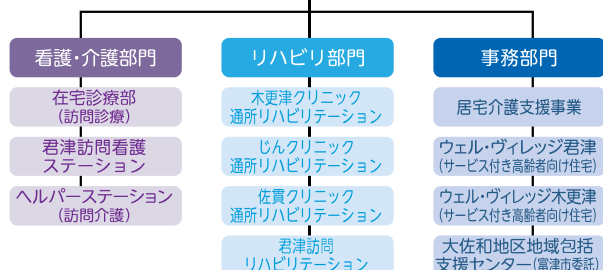
「11事業所が連携することの意味」

訪問診療・訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ・通所リハビリ(3拠点・居宅介護支援・サービス付き高齢者向け住宅(2拠点)・地域包括支援センターが揃いました。各事業所が連携することで、大きな力につながります。一人の患者さんが退院後に安心して生活ができるよう、訪問診療を選択し、訪問看護で定期的な状態を観察し、訪問リハビリで回復したら、さらに安定すれば通所リハビリで仲間と一緒に身体を動かすことができるようになります。その方のペースに合わせた切れ目のないケアを、チームとして提供していくことができます。

「心地よい空間づくり」

介護事業部の基本理念は「医療と介護をつなぎ、生活を支える」です。どんな状態であっても、その人らしい

介護事業部



暮らしを続け、少しでも笑顔になっていただきたいと思っています。介護のことで少しでも心配なことが出てきたとき、どこに相談すればよいかわかっておいていただければ、きっと安心につながります。どんな小さなことでも心を寄せてともに考えるーそんな心地よい空間を地域に広げていくよう、スタッフ一同努力してまいります。地域の皆さま、どうぞよろしくお願いたします。

看護と介護で「生きたい人生」に寄り添う



看護・介護部門
副センター長 石川 智子

この度、新設された介護事業部で「看護・介護部門」を担当することになりました石川智子です。どうぞよろしくお願いたします。

私たちのコンセプト「医療と介護をつなぎ生活を支える」に則り日々の体調管理や医療的ケアを確実にしながら、ご利用者さまが住み慣れたこの地でその人らしい暮らしが出来るよう環境を整えてまいります。看護と介護はご利用者さまの生活を支える両輪です。お互いの専門性を尊重しあい連携を取り、チームとして団結してまいります。

ご利用者さまの「生きたい人生」「その人らしい人生」に寄り添いながら、心の通ったケアが出来るよう努力し地域に開かれた温かい部門を目指してまいります。

富津市大佐和地区の皆さま

住み慣れた地域で安心して暮らすために ～地域包括支援センターをご存知ですか？～

富津市大佐和地区地域包括支援センター
センター長 本吉 明美



皆さまは「**地域包括支援センター**」という相談窓口をご存知でしょうか？

高齢者の皆さまが住み慣れたこの地域で、自分らしく安心して暮らしていけるように、**保健師(看護師)・社会福祉士・主任ケアマネジャー**といった専門職がチームとなって生活をサポートする、市が設置した公的な相談機関です。この度、社会医療法人社団 新都市医療研究会君津会では、富津市より委託を受けて大佐和地区地域包括支援センターをオープン(2026年4月1日)致しました。地域の皆さまの「一番身近な相談パートナー」として、次のような幅広いご支援を行っております。

1. どんな相談ができるの？(総合相談)

「最近、物忘れが気になる」「足腰が弱ってきて、デイサービスなどを利用したい」「家族の介護で悩んでいる」など、高齢者に関する困りごとを幅広く受け付けています。ご本人だけでなく、ご家族や近しい方、民生児童委員からのご相談も大歓迎です。

2. 元気なうちからできること(介護予防ケアマネジメント)

いつまでも健康で元気に過ごすための「介護予防」をサポートします。私たちの富津市では『いきいき百歳体操』の取り組みが活発に行われております。

要介護状態にならないための健康づくりをお手伝いします。

3. 皆さまの権利を守ります(権利擁護)

高齢者の皆さまが安心して暮らせるよう、消費者被害(詐欺など)の防止や、虐待の早期発見・対応を行います。また、財産管理に不安がある場合の成年後見制度の利用についてもご相談に応じています。

4. 暮らしやすい地域づくり(包括的・継続的ケアマネジメント)

地域のケアマネジャーをはじめ、医療機関、民生委員、行政などと連携し、誰もが孤立せず、安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

地域の皆さまへ：一人で抱え込まず、まずはご相談を

当センターは、地域ナンバー1の包括支援センターを目指し、迅速かつ丁寧な相談対応を心がけております。「こんなこと相談してもいいのかな？」と迷うような小さな心配事でも構いません。電話でのご相談や、ご自宅への訪問も可能です(秘密は厳守いたします)。

住み慣れたこの町で、これからも笑顔で暮らし続けるために、まずは私たちの地域包括支援センターへお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

- ・センター名：富津市大佐和地区地域包括支援センター
- ・電話番号：0439-32-1280 受付時間：月～金(8:30～17:15)
- ・住所：富津市亀田445-1
特別養護老人ホーム亀田の郷 地域交流センター内

安心して暮らし続けられる地域づくり

最近また、散歩に行けるようになったよ。

通所リハビリテーションをご利用されている方からいただいたこの言葉は、私たちにとって何よりの励みです。外出に不安を感じていた方も、リハビリを重ねることです。少しずつ自信を取り戻し、散歩や買い物など、日常の楽しみを再び感じられるようになっていきます。玄々堂木更津クリニックでは、リハビリテーション科を新設し、外来・通所リハビリテーションを実施しています。昨年度は、多くの地域の皆さまにご利用いただきました。今年度からは介護事業部も始動し、医療・介護・リハビリスタッフが連携した支援体制をさらに充実させています。

これからも地域の皆さまに寄り添い、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献してまいります。



リハビリ部門
副センター長 保坂 聡

地域の医療・介護を支える力に

2026年4月に介護事業部が設立され、同月より富津市大佐和地区地域包括支援センター事業を受託し、介護・福祉サービスの充実に向けて新たな一歩を踏み出しました。介護事業部の基本理念である「医療と介護をつなぎ、生活を支える」を実現するために、日々の運営が安定していることが大切です。そこで事務部門では、請求や労務管理、施設の整備などを通じて、各事業所の運営を支えています。

また、利用者の皆さまに安心してサービスをご利用いただくためには、手続きを正確に行い、必要な情報をチームで共有することが大切です。

こうした日々の業務が円滑に進むよう、ICTの活用を進めながら、職員が安心して働ける環境づくりに取り組んでいます。これらの積み重ねを大切にして、これからも地域の医療・介護を支える力となるよう努めてまいります。



事務部門
副センター長 永沼 剛

部署紹介

栄養科

管理栄養士
主任 荻野 悟

栄養科のメンバーは、管理栄養士、栄養士、調理師、調理補助員で構成されており、現在は総勢57名となりました。管理栄養士・栄養士というと、ひとは「食事を作る人」というイメージが強かったと思います。もちろん、栄養・食事に関わる職業ではありませんが、2024年度後期NHK連続テレビ小説「おむすび」をご覧になり、イメージが変わった、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



部門としては、栄養食事指導や、入院患者さんの栄養管理や食事管理、また一緒に働くスタッフ向けの食事提供を行っています。外来では、患者さんに必要な食事療法のための指導を中心に行っています。食事に関する

情報はテレビや書籍、インターネットやSNS等で得ることができますが、真偽が定かでない、不正確な情報が紛れています。栄養指導を通じて、患者さんに正しい知識を習得していただき、継続可能な食行動に結び付けられるよう心がけています。入

院患者さんからは、時に厳しいご意見をいただくこともありますが、「ここの食事はおいしいね！」というありがたいお言葉を頂戴することもあり、我々の励みになっています。

2023年10月、木更津クリニックの新築移転に伴い、サービス付き高齢者向け住宅のウェル・ヴィレッジ木更津が開設となりました。入居者さんやクリニックに勤務するスタッフの食事を、よりおいしく、より充実したものとするため、2026年4月より直営化し、栄養科で担当することになりました。まだ発展途上ではありますが、本格的な稼働に向けて取り組んでいます。



現在、物価高やエネルギー供給の不安定等、社会環境に大きく影響を受けていますが、食事は私たちが生きていく上で欠かせない「衣食住」の一つであり、生活の基礎であると考えています。その方の生活習慣や、長く親しんだ味や嗜好の有無など、個人差がとても大きいため、一律の管理、指導はなかなか難しいです。その方が生活されていく上での一部でもあるため、おいしい食事を食べること、楽しく食することは誰しもが望むことです。その一助となるよう、部門一同取り組んでまいります。

新聞委員会

医療スタッフが届ける「げんげんどう」

診療放射線技師 神子 枝里子



今、お読みいただいている広報誌「げんげんどう」は、看護師、理学療法士、診療放射線技師など、当院で働くさまざまな職種の医療スタッフが協力して制作しています。現場で患者さんと向き合うスタッフが中心となり、企画の立案から原稿依頼、内容の確認、校正作業まで、ひとつひとつ丁寧に作り上げています。発行は年4回（4月・7月・10月・1月）で、病気や治療に関する解説、当院の取り組みやトピックスをわかりやすく紹介しています。バックナンバーは当院ホームページで公開しており、過去の記事も自由に読むことができます。

医療の最前線に立つスタッフからこそ気づく視点や、日々の診療で得た知識を活かし、地域の皆さまに役立つ情報を届けることを目指しています。ぜひ手に取っていただき、当院の取り組みや思いを感じてほしいと思います。





整形外科
西方 一将 医師

新任医師紹介

4月より赴任いたしました、整形外科の西方一将と申します。秋田県出身ですが、研修医時代を鴨川市の亀田総合病院および館山市の安房地域医療センターで過ごしました。房総地域は、医師としての基礎を育んでいただいた、私にとって思い入れの深い地域です。ご縁があり、再びこの地で勤務できることを大変嬉しく思っております。

医師としてはまだ若輩者であり、学ぶべきことも多くございますが、少しでも皆さまのお力になれるよう日々精進してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

乳腺外科 セカンドオピニオン外来はじまる



詳しくはこちらへ



乳腺外科
田辺 真彦 医師

当院の乳腺外科外来は毎週土曜日で、崎山医師(女性・第1・3土)、西岡医師(女性・第4土)と私(男性・第2土)が外来を担当しております。この度、第2土曜日にセカンドオピニオン外来を開設いたしました。

初発乳がんの治療においては、年齢、サブタイプ(エストロゲン受容体、HER2受容体、Ki67に基づく分類)、ステージに応じた標準治療が推奨されており、国内のどの施設でもガイドラインに従って同じ治療を行っています。しかし、現実的には、患者さんの置かれている状況(お仕事、子育て、生活習慣、妊娠出産のご希望、遺伝性乳がんの可能性、他)が大きく異なりますので、ライフスタイルやライフイベントに応じた「個別化医療」を提供しています。

非浸潤性乳がんの治療では、手術療法を軸として、部分切除術の場合に放射線療法(温存乳房照射)を組み合わせます。浸潤性乳がんの治療では、全身療法(内分泌療法、抗がん剤治療、分子標的治療)を軸として、手術療法と放射線療法を組み合わせ、根治を目指します。転移性乳がんは、根治に至ることは現在の医療では極めて稀で、乳がんが進行しないようにコントロールすることを目標に各種薬物療法を組み合わせます。次第に人生全体のゴールをイ

メージしながら緩和ケアの準備をすることも大切になってきます。

乳がんをはじめとする「がん」はとても手強く、治療が思い通りに効かない場面が多々あります。このような状況におかれると、患者さんは「正しい治療を受けているのか」、「最善の治療を受けているのか」と不安になります。本来であれば、患者さんご自身の治療担当医とじっくりゆっくりお話しできることがベストなのですが、日常外来では十分な時間を確保できず私自身も申し訳なく感じるが多々あります。「乳がんセカンドオピニオン外来」では、患者さんのお話をじっくり拝聴し、治療方針と一緒に確認いたします。皆さまの心の支えとなりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

日時：毎月第2土曜日 午前(完全予約制)

相談時間：10:00～10:30/10:30～11:00

費用(自由診療):30分11,000円/60分22,000円(税込)

※新たな検査・投薬・処置は行わず、相談のみとなります。

担当医紹介

担当医：田辺 真彦(たなべ まさひこ) 医師

現 職：東京大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科
病院教授

専 門：乳腺外科、乳がんの診断および治療、臨床試験

乳腺外科セカンドオピニオン外来の目的

乳がんの診断や治療方針について、現在の主治医以外の専門医から意見を聞きたいと希望される方を対象としています。目的は転院ではなく、あくまで「第三者の専門医」としての助言を提供することにあります。現在の主治医との信頼関係を保ちながら、患者さんご自身が最適な治療を選択できるよう、専門的な知見からサポートいたします。

感染対策

コラム

Vol.3

感染管理認定看護師

看護師長 永塚 藍



ダニにかまれたときの注意と リケツチャ感染症

梅雨が明け、緑がいっそう深まる季節となりました。屋外での活動が増えるこの時期、注意したいのが「マダニ咬傷」です。君津地域でもマダニによる感染症が報告されています。咬まれると、まれにリケツチャという細菌が体内に入り、「日本紅斑熱」や「つつが虫病」を発症することがあります。高熱や発疹、咬まれた部分の黒いかさぶたが特徴です。早めの受診で抗生剤による治療が可能です。予防には長袖・長ズボンの着用や虫よけ剤の使用が効果的。帰宅後は入浴時に体をよく確認し、ダニがついていないかチェックしましょう。自然を楽しむ際も、感染予防を心がけましょう。



頭の体操・脳活コーナー??

ある文字から時計回りに順に読むと、野菜の名前が出てきます。空いたマスに1文字ずつ入れて、それぞれの名前を完成させてください。(答えは下にあります)

①

②

③

④

出典GAKKEN MOOK 長生きパズルで脳活性 ことばのパズルSP120問 より

令和8年度診療報酬改定について

医事部 部長 山口 伸行

今年は2年に一度の診療報酬改定の年です。6月1日より新しい保険点数が適用されます。今年度の診療報酬改定では、物価上昇や医療従事者の確保に対応しながら、地域で必要な医療を安定して提供できる体制づくりを進めることが大きな目標として挙げられています。入院医療では、急性期・回復期・慢性期など、それぞれの役割に応じた適切な医療提供体制への見直しが進められます。また、救急を担う医療機関の受け入れ体制や高度な医療を支える仕組みの充実も重視されています。あわせて、ICTや医療DXの活用により、より安全で質の高い医療を提供するための体制づくりが推し進められます(マイナ保険証の活用など)。一方で、物価高への対応として、入院時の食費など一部の自己負担額見直しも実施されます。目まぐるしい社会情勢の変化に対応しながら、地域の皆さまに貢献できる病院であり続けるために、診療報酬改定をステップアップの機会ととらえて、前向きに取り組んでまいりたいと思います。

玄々堂君津病院 各お問い合わせ番号 月曜日～土曜日(祝日は除く)

玄々堂君津病院
0439-52-2366
代表

外来診療予約
0439-52-7068
診療予約・予約変更
9:00～16:00

地域連携室
0439-52-2457
医療機関からの患者さんのご紹介
9:00～17:00

玄々堂木更津クリニック
0438-53-7807
代表



玄々堂グループ広報誌

げんげんどう

第107号 2026年7月23日発行

発行：玄々堂君津病院
発行責任者：院長 池田重雄
企画・編集：新聞委員会

社会医療法人社団 新都市医療研究会君津会

玄々堂君津病院

〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-7-20

電話 0439-52-2366(代表)

URL <http://www.gengendo.jp>



答え：①ホウレンソウ ②アスパラガス ③チンゲンサイ ④スナッペンエンドウ